

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立北山中学校

5月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和3年5月27日(木)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

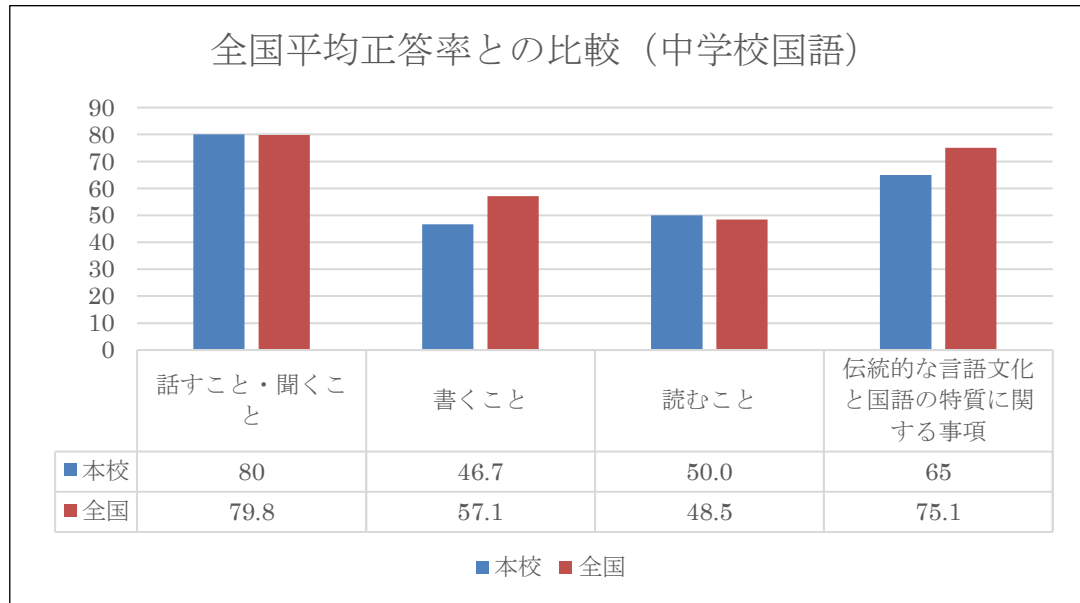
児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

「話すこと・聞くこと」と「読むこと」の領域では、ほぼ全国平均と同等の結果でしたが、「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」はやや全国平均正答率を下回りました。

(2) 成果と課題

今回の調査で、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が 10.1 ポイント下回りました。語彙力や漢字の読み書きの力は、国語科の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの内容領域を支えるものとなります。また、問題を正確に読み取り、条件に沿って答えることに課題が見られました。いくつかの条件には当てはまっていますが、1つでも満たされないと正解にはならないので、細かいところまで見落とさない注意深さが求められます。単なる「知識」を問う問題ではなく、複数の資料を見比べたり、必要な情報を選択したりする、「思考力・判断力・表現力」を総合的に対応できる力が求められます。

(3) 学力向上のための取り組み

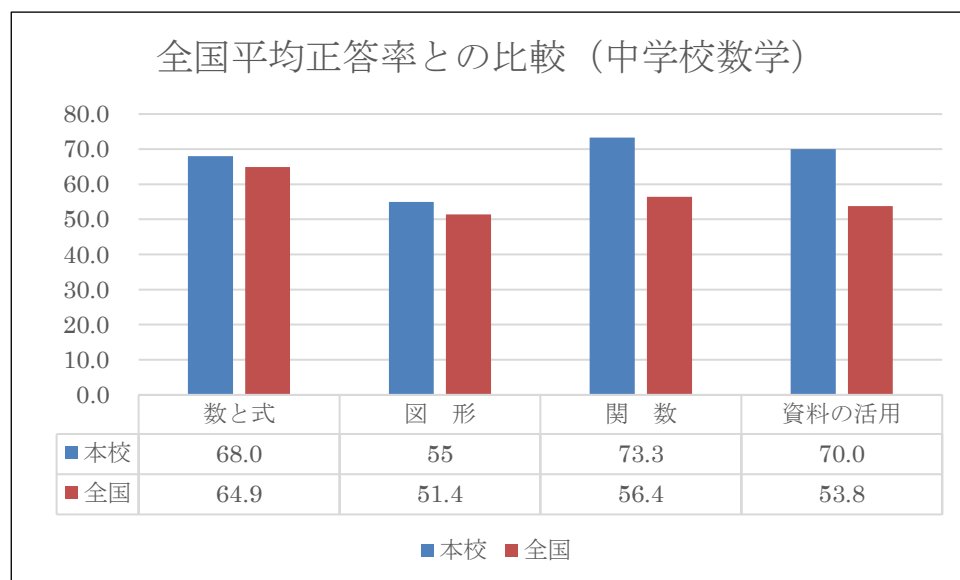
【学校では】

- 読解力の向上のためには、豊かな語彙力が必要です。授業での辞書活用場面を設定したり、「言葉を広げよう」の冊子を活用したりして、語彙獲得のための指導を継続して行います。
- 書く力を向上させるために、目的や意図に応じて、根拠を明確にしながら自分の考えを書く指導を行います。その際に、示された条件に合わせて書くことに留意させます。
- 読解力の向上のために、正確に読み解くことができるように「言の葉タイム（読解力をつけるためのドリル学習）」の活用や、読書の幅を広げ、質を高めるための本の紹介や「味見読書」などで、読書に親しむ機会を作ります。

【ご家庭では】

- 国語は、継続的な学習が必要な教科です。新しく覚えた言葉を生活の中で活用することで、豊かな語彙を身につけていくことができます。すぐに力がついたとは実感できないかもしれませんが、短時間でもよいので辞書を使って意味を調べたり、新たな語彙を使って日記を書いたりすることも有効です。
- 読書の時間を確保しましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術と、さまざまなジャンルの本を読むと語彙力を高め知識の幅を広げることができます。質の高い読書を目ざしましょう。

2 数学



(1) 結果

すべての領域で全国平均を上回っています。また、無回答の状況を見ても全国より少ない状況でした。問題形式(「選択式」「短答式」「記述式」)ごとの正答率についても、すべて全国平均を上回っていました。

(2) 成果と課題

今回の調査では、すべての領域において全国平均を上回っており、設問ごとに見てもほぼすべてにおいて、全国平均と同様、もしくは上回っていました。しかし、同じ領域でも設問によって正答率の差が見られた。「四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する」問題で、説明が不十分であるなど、事象を数学的に解釈し数学的に説明する問題を苦手としているようである。また、用語の意味や記号の使い方も定着していない箇所が見られました。

日々の授業の中で数学の用語や記号を使い、説明する活動や書く活動を継続して取り入れ、用語の意味や記号の使い方の定着を目指し、数学的に説明する力をつけていきます。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 放課後学習会等の時間を利用して補充的な学習を行い、学力の定着を図ります。
- 授業では、友だちの考えを聞いたり、自分の考えをまとめたり、他者に伝えたりする言語活動を多く取り入れ、数学的な見方・考え方を育成し、思考力・活用力を高めます。
- 週末課題を実施し、既習事項の復習とつまづきの克服を目指します。
- 家庭学習の課題チェック、ノートチェック、プリント、ドリルなど日々の指導の中で個々のつまづきを早期に見つけ、学習習慣の確立と補充指導に努めます。

【ご家庭では】

- 数学は積み上げの教科です。まとめて長い時間の勉強をするより、毎日、短時間ずつ学習を続けていくと力がつきます。また、授業があった日に復習をすると、一度忘れても思い出すのが容易になります。学習習慣のリズムができると課題に取り組むのも楽になってきます。最後まであきらめずに解くことが大切です。解けた喜びを味わうと数学が楽しくなってきます。励ましの言葉をお願いします。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果 《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	80.0%	81.8%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	60.0%	36.3%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	80.0%	57.6%
自分にはよいところがあると思いますか。	40.0%	34.5%
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	40.0%	20.0%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	60.0%	74.3%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	80.0%	81.4%

朝食・起床・就寝については全国平均を上回っています。ご家庭の協力によるものです。自己肯定感や挑戦心については、全国平均を上回っているものの低い結果が出ています。規範意識の項目については、すべての生徒が肯定的な回答をしています。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	0.0%	19.4%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	20.0%	12.3%
「2時間以上、3時間より少ない」	40.0%	29.5%
「1時間以上、2時間より少ない」	40.0%	34.1%
「30分以上、1時間より少ない」	0.0%	14.1%
「30分より少ない」	0.0%	6.4%
「全くしない」	0.0%	3.5%
新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。	20.0%	34.6%

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の問いでは、「よくしている」は0%ですが、「ときどきしている」は全国平均45.8%に対し、80%でした。学習時間は、全生徒が普段から家庭学習に取り組んでいます。平日1時間以上学習しており、全国平均を大きく上回っています。しかし、内訳を見ると、3時間以上している生徒がいる一方で、1時間～2時間と答えた生徒もおり、個人差が見られます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大による児童の心の問題も、大切な課題であるととらえています。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 家庭学習の習慣が定着するよう、毎日「自主学習（自学）」を宿題として出しています。充実した内容の自学ノートを提出する生徒が増えてきています。自学ノートは各教科担当からコメントを入れるようにしています。アドバイスを基に次の目標をもって自学に取り組ませたいと思います。
- 思考力・判断力・表現力を向上させるために、朝の会、ブロック集会、委員会活動等の様々な場面でスピーチ活動を行っています。今後も継続して行っていきます。
- 毎週「言の葉タイム」を実施し、読み解く力をスキルアップさせます。

【ご家庭では】

- 「学習の手引き」を配布しています。各教科の授業への取り組み方や家庭学習のポイント等を掲載しています。参考にされて、毎日家庭学習に取り組むお子さんへのアドバイスをお願いします。
- 規則正しい生活習慣や家族との関わり、地域の方との交流を通して、子どもたちの学習に向かう基盤となる人間性が育まれます。1つ成長したら、みんなで喜び、励ましたり褒めたりしてあげてください。